ともに支え、ともに働き、
その人らしい未来へ

参加無料

令和８年度

長崎県若年性認知症研修



若年性認知症の理解と就労継続支援

若年性認知症への理解を深め、就労継続を支える支援、福祉サービスの活用、地域の支援体制について学ぶ研修会です。

会場（先着100名）＋オンライン配信（Webex）

日時
令和8年12月14日(月)
13:30~16:00(受付13：00~)

会場
長崎県庁行政棟1階
大会議室AB
長崎市尾上町3-1

対象者

- 市町職員
- 地域包括支援センター職員
- 認知症疾患医療センター職員
- 介護・障害福祉サービス事業所職員
- 従業員の就労継続や職場づくりに関わる企業担当者
- 産業保健関係機関職員
- 保健所職員　等

プログラム

13:30~13:35　開会挨拶
13:35~13:50　若年性認知症サポートセンター紹介

第1部　13:50~14:30
若年発症の認知症疾患治療と就労継続支援



長崎大学病院
基幹型認知症疾患医療センター
副センター長　田山 達之 氏

精神保健福祉士　松尾 昂尚 氏

第2部　14:40~15:10
私の居場所（若年性認知症Aさんの事例）

~若年性認知症の症状があっても、福祉サービスを利用して事業所で働くことができる喜び、仲間がいる喜び~

長崎市障害者相談支援事業所
つどい
相談支援専門員　藤原 一美 氏

第3部　15:10~15:40
グループホームから地域へ！

~無償のボランティア活動がもたらす「生きがい」と役割~



社会福祉法人　豊和ふるさと
理事長　平戸 京子 氏



ながさきけん希望大使
かおりさん

お申込み

申込締切
令和8年11月30日(月)

左記のQRコードよりお申し込みください

主任介護支援専門員の皆さまへ

本研修は、主任介護支援専門員更新研修の受講要件として認められる法定外研修です。
※会場受講者のみ対象

主催　長崎県若年性認知症サポートセンター

お問い合わせ先
長崎県長寿社会課
TEL：095-895-2434

みなが咲き、ながさき。

講　師　紹　介

田山 達之氏

長崎大学病院基幹型認知症疾患医療センター
副センター長

2008年3月　長崎大学医学部卒業
2010年4月　長崎大学精神神経科入局
2021年4月-現在　長崎大学病院精神神経科、認知症疾患医療センター副センター長兼務
精神科専門医・指導医、精神保健指定医

松尾 昂尚氏

長崎大学病院基幹型認知症疾患医療センター
精神保健福祉士

2016年3月高知県立大学社会福祉学部社会福祉学科卒業後、一般企業等での勤務を経て2021年5月より長崎大学病院精神科神経科入職し、認知症疾患医療センター専従のソーシャルワーカーとして勤務。
認知症疾患の専門医療相談から診断後支援、専門職等を対象とした研修会の企画・運営に携わる。
日本老年精神医学会会員、長崎県精神保健福祉士協会所属。

藤原 一美氏

長崎市障害者相談支援事業所 つどい
相談支援専門員



長崎純心大学心理学科を卒業後、約10年ほど接客、販売業を中心に就労。30代前半に介護のデイサービス事業所で職員として働く。元々、人と接すること、周りの人とのつながりの中での相談事に対して、一緒に考えていくこと、動いていくことを普段の生活の中で行っていたことから、「相談業務」に関心を持つ。その後、社会福祉法人ウイキャン・サポートへ入社。長崎市南部、末石町にある長崎市障害者相談支援事業所つどいの相談員として業務を行う。令和4年11月、相談支援専門員としての業務を開始。「障害福祉サービスの申請支援や情報提供」、「アパート等の入居前後の支援」、「サービス等利用計画の作成支援」、「日常生活に関する困り事や、相談の解決支援」等を行っている。
つどいは長崎市より相談支援事業の委託も受けており、総合的な障害福祉支援の相談支援業務を行っている。また、障害福祉手帳を持参されている方であれば日中、自由に過ごすことができる「フリースペース」、地域活動支援センターⅠ型つどいも開所している。マスクカラオケ、小物・雑貨づくり、調理、軽スポーツ等の活動を行っている。その中で、アート活動を利用者と行っており、絵を書いたり、壁面飾りを作成したりと創作活動等も月に1度行っている。相談支援専門員として、利用者の目線にたち、傾聴をしっかり行いながら、支援を行うよう心がけている。

平戸 京子氏

社会福祉法人豊和ふるさと 理事長

1981年～2021年　長崎市（伊王島町）保健師 として就労
2021年 「NPO法人 ふるさと 代表」　高齢者と子供の支援（グループホームふるさと代表）
2025年 「社会福祉法人 豊和ふるさと 代表」 へ発展的移行　現在に至る



かおりさん

ながさきけん 希望大使（2025年9月就任）

会社員として働いていた2023年に軽度認知障害、アルツハイマー型認知症の疑いとの診断を受け、会社を休職。
翌年10月にアルツハイマー型認知症の確定診断を受けました。
当時は一人暮らしでしたが、昨年11月から小規模多機能型居宅介護のショートステイを利用、今年夏からはグループホームに入所しました。